

(8) 機械器具製造業

◆ 概要

第二次世界大戦後、本市において急速に成長してきた機械関連の製造業は、エレクトロニクス、精密機械分野で国際的な競争力を持つ中堅企業の群生を中心として発展を続け、今では繊維に代わる京都市の代表的産業として定着している。

ここでは、産業中分類のはん用機械器具製造業、

生産用機械器具製造業、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、輸送用機械器具製造業の7業種を合わせて、機械器具製造業とする。

平成21年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）によると、事業所数は500所で、前年比較では64所減少（対前年増加率△11.3%）している。従業者数は25,881人で、前年比較では2,173人の減少（同△7.7%）となっている。製造品出荷額

表Ⅱ-3-8-1 機械器具製造業の事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移

（単位：所、人、百万円）

	事業所数	従業者数	製造品出荷額等
平成12年	660	30,866	1,335,260
平成13年	626	29,929	1,060,130
平成14年	578	28,281	866,161
平成15年	590	28,158	914,619
平成16年	566	28,200	925,372
平成17年	588	28,584	936,229
平成18年	560	28,119	940,007
平成19年	540	29,310	1,043,558
平成20年	564	28,054	×
平成21年	500	25,881	696,659

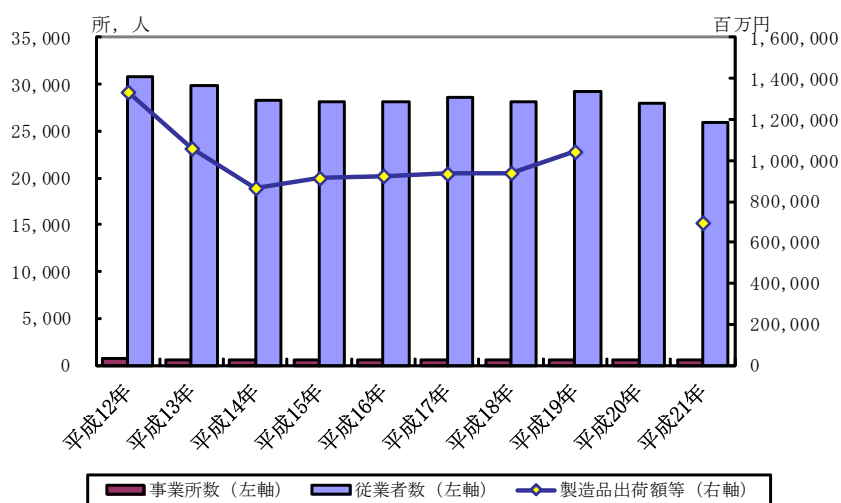
資料：京都市総合企画局「平成21年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）」

注：平成19年調査で調査項目を変更したため、製造品出荷額等は前回の数値とは接続しない。

注：平成20年調査において日本標準産業分類の改定が行われたため、前回の数値とは接続しない。

注：該当事業所が特定されるおそれのある箇所は、「×」で表記。

図Ⅱ-3-8-1 機械器具製造業の事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移



資料：京都市総合企画局「平成21年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）」

注：平成19年調査で調査項目を変更したため、製造品出荷額等は前回の数値とは接続しない。

注：平成20年調査において日本標準産業分類の改定が行われたため、前回の数値とは接続しない。

等は、前年において情報通信機械器具製造業が秘匿措置により数値が公表されていないため、機械器具製造業合計の値は把握できず、比較できない。

京都市の製造業に占める機械器具製造業の割合は、事業所数が 17.3%、従業者数は 38.9%、製造品出荷額等が 33.1%となっている。

平成 12 年からの推移を見ると、事業所数は増減を繰り返しつつも平成 20 年までは緩やかな減少から横ばい傾向で推移してきたが、今回は大きく減少している。従業者数は平成 15 年から横ばいで推移していたが、平成 19 年になって増加し、今回は事業所数の減少に比例して大きく減少している。製造品出荷額等は平成 14 年から緩やかな増加傾向にあり、平成 19 年も増加で推移してきたが、今回は大幅に減少している〔表Ⅱ-3-8-1、図Ⅱ-3-8-1〕。

◆ 市内の機械器具製造業の特色

機械器具製造業の特色を業種細分類別で見ると、事業所数は生産用機械器具製造業の半導体製造装置製造業が 31 所で最も多く、生産用機械器具製造業（182 所）全体の 17.0%、機械器具製造業全体の 6.2%を占めている。従業者数では、電子部品・デバイス・電子回路製造業の集積回路製造業が 3,348 人で最も多く、電子部品・デバイス・電子回路製造業（4,555 人）全体の 73.5%、機械器具製造業全体の 12.9%を占めている〔表Ⅱ-3-8-2〕。

① はん用機械器具製造業

はん用機械器具製造業は、平成 21 年工業統計調査結果報告（従業者 4 人以上の事業所）によると、事業所数は 52 所（対前年増加率△1.9%）、従業者数は 1,037 人（同△2.6%）、製造品出荷額等は 166 億 56 百万円（同△28.3%）となっている。また、製造業全体に占める割合は、事業所数が 1.8%、従業者数は 1.6%、製造品出荷額等は 0.8%となっている。

業種細分類別では、他に分類されないはん用機械・装置製造業が事業所数、従業者数、製造品出荷額等のすべてで最も多くなっている。ただし、製造品出荷額等の 37.3%が秘匿されており、詳細な分析

はできない。

② 生産用機械器具製造業

生産用機械器具製造業は、平成 21 年工業統計調査結果報告（従業者 4 人以上の事業所）によると、事業所数は 182 所（対前年増加率△18.0%）、従業者数は 4,895 人（同△19.2%）、製造品出荷額等は 996 億 1 百万円（同△42.6%）となっており、機械器具製造業の中では事業所数が最も多い。また、製造業全体に占める割合は、事業所数が 6.3%、従業者数は 7.4%、製造品出荷額等は 4.7%となっている。

業種細分類別では、半導体製造装置製造業が事業所数と従業者数で最も多く、製造品出荷額等は包装・荷造機械製造業が最も多くなっている。中でも包装機械製造業は食品製造業を主な受注対象先としていくことが多く、同業界は比較的景気動向に左右されにくいいため、設備投資も安定的に行われるといった特徴がある。従って同じ生産用機械器具を製造している半導体製造装置製造業等に比べ、設備更新の需要の波に捉われにくいといった利点がある。

③ 業務用機械器具製造業

業務用機械器具製造業は、平成 21 年工業統計調査結果報告（従業者 4 人以上の事業所）によると、事業所数は 82 所（対前年増加率△6.8%）、従業者数は 7,426 人（同 0.1%）、製造品出荷額等は 2,180 億 76 百万円（同△17.6%）となっており、機械器具製造業の中では従業員数が最も多い。また、製造業全体に占める割合は、事業所数が 2.8%、従業者数は 11.2%、製造品出荷額等は 10.4%となっている。

業種細分類別で見ると、事業所数、従業者数、製造品出荷額等のすべてで分析機器製造業が最も多くなっている。京都市には、国内でも有数の大手分析機器メーカーがあり、その下請業者も多く、分析機器製造業の事業所数、従業者数や製造品出荷額全体の数字を押し上げている。

④ 電子部品・デバイス・電子回路製造業

電子部品・デバイス・電子回路製造業は、平成 21 年工業統計調査結果報告（従業者 4 人以上の事業所）によると、事業所数は 38 所（対前年増加率△11.6%）、従業者数は 4,555 人（同 7.7%）、製造品出荷額等は 1,544 億 50 百万円（同△18.2%）となっている。また、製造業全体に占める割合は、事業所数が 1.3%、従業者数は 6.8%、製造品出荷額等は 7.3%となっている。

業種細分類別で見ると、事業所数は、その他の電子部品・デバイス・電子回路製造業が最も多く、従業者数は集積回路製造業が最も多くなっている。製造品出荷額等については 93.4%のデータが秘匿されているため、分析できない。

⑤ 電気機械器具製造業

電気機械器具製造業は、平成 21 年工業統計調査結果報告（従業者 4 人以上の事業所）によると、事業所数は 107 所（対前年増加率△5.3%）、従業者数は 4,773 人（同△13.8%）、製造品出荷額等は 1,220 億 19 百万円（同△24.1%）となっている。また、製造業全体に占める割合は、事業所数が 3.7%、従業者数は 7.2%、製造品出荷額等は 5.8%となっている。

業種細分類別では、配電盤・電力制御装置製造業が事業所数、従業者数、製造品出荷額等のすべてで最も多くなっている。特に京都市内では国内を代表する大手の電気機械器具メーカーが多く、それらの下請業者等の進出、創業がこれまで定着しており、京都市内では中心的な業種となっている。

⑥ 情報通信機械器具製造業

情報通信機械器具製造業は、平成 21 年工業統計調査結果報告（従業者 4 人以上の事業所）によると、事業所数は 5 所（対前年増加率△37.5%）、従業者数は 276 人（同△28.9%）、製造品出荷額等は 91 億 78 百万円となっている。また、製造業全体に占める割合は、事業所数が 0.2%、従業者数は 0.4%、製造品出荷額等は 0.4%となっている。

業種細分類別で見ると、従業者数ではその他の通

信機械器具・同関連機械器具製造業が最も多くなっている。製造品出荷額等はすべての業種でデータが秘匿されているため、分析できない。

⑦ 輸送用機械器具製造業

輸送用機械器具製造業は、平成 21 年工業統計調査結果報告（従業者 4 人以上の事業所）によると、事業所数は 34 所（対前年増加率△8.1%）、従業者数は 2,919 人（同△13.1%）、製造品出荷額等は 766 億 79 百万円（同△45.2%）となっている。また、製造業全体に占める割合は、事業所数が 1.2%、従業者数は 4.4%、製造品出荷額等は 3.6%となっている。

業種細分類別では、自動車部分品・附属品製造業が事業所数、従業者数、製造品出荷額等のすべてで最も多くなっており、特に、製造品出荷額等は、輸送用機械器具製造業の 89.6%を占めている。

表Ⅱ-3-8-2 機械器具製造業の主な産業（細分類）別事業所数，従業者数，製造品出荷額等

(単位：所，人，百万円，%)

	事業所数		従業者数		製造品出荷額等	
		構成比		構成比		構成比
機械器具製造業	500	100.0	25,881	100.0	696,659	100.0
はん用機械器具	52	10.4	1,037	4.0	16,656	2.4
他に分類されない はん用機械・装置製造業	17	3.4	267	1.0	3,893	0.6
ボイラ製造業	3	0.6	78	0.3	2,359	0.3
生産用機械器具	182	36.4	4,895	18.9	99,601	14.3
包装・荷造機械製造業	6	1.2	482	1.9	18,568	2.7
半導体製造装置製造業	31	6.2	1,029	4.0	16,987	2.4
業務用機械器具	82	16.4	7,426	28.7	218,076	31.3
分析機器製造業	19	3.8	3,118	12.0	110,729	15.9
その他の計量器・測定器・分析機器・試験機・測量機械器具・理化学機械器具製造業	14	2.8	1,711	6.6	47,974	6.9
電子部品・デバイス・電子回路	38	7.6	4,555	17.6	154,450	22.2
電子回路実装基板製造業	9	1.8	339	1.3	4,138	0.6
電子回路基板製造業	4	0.8	113	0.4	2,495	0.4
電気機械器具	107	21.4	4,773	18.4	122,019	17.5
配電盤・電力制御装置製造業	30	6.0	2,030	7.8	57,576	8.3
蓄電池製造業	4	0.8	545	2.1	23,691	3.4
情報通信機械器具	5	1.0	276	1.1	9,178	1.3
パーソナルコンピュータ製造業	2	0.4	14	0.1	⋈	—
その他の通信機械器具・同関連機械器具製造業	1	0.2	225	0.9	⋈	—
輸送用機械器具	34	6.8	2,919	11.3	76,679	11.0
自動車部分品・附属品製造業	12	2.4	2,330	9.0	68,668	9.9
その他の航空機部分品・補助装置製造業	11	2.2	256	1.0	2,543	0.4

資料：京都市総合企画局「平成21年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）」

なお，細分類については主なものを取り上げている。

注：該当事業所が特定されるおそれのある箇所は，「⋈」で表記。